ＪＲ東海労ニュース

№２８３６
２０２４年６月１０日
ＪＲ東海労働組合

統制委員会撤回！ 津崎裁判勝利！
第４１回定期大会

ＪＲ東海労は６月９日、名古屋市内で第４１回定期大会を開催しました。

淵上委員長は挨拶で「『ＪＲ総連連絡』は、解決できない無理難題を押し付けてきた。履行していないことをもって『指示違反』とした。これが統制委員会設置の理由となるのか。統制委員会の撤回を求める。組織展望は私たちがつくろう」と訴えました。来賓には、ＪＳ労柳楽委員長、本部ＯＢ会福島会長が出席し、それぞれ挨拶を受けました。

質疑では、「統制委員会設置を許さない」「ＪＲ総連近畿地協定期委員会における組織破壊攻撃デッチ上げを許さず闘う。津崎裁判でＪＲ総連らの嘘を追及する」「ＪＳ労の仲間と共に闘う」「妨害を跳ね返し、組織拡大を目指そう」などの発言がありました。

決議では、本部が提起した「ＪＲ東海労への統制委員会の設置を認めない！制裁を許さない特別決議（案）」と、規約・規則に則った動議で代議員より提出された「真実を明らかにするための『津崎裁判』！原告・渡邊幹夫さん、小林國博さんと共に闘う特別決議（案）」を採択しました。また、原告２名に多くの檄が寄せられました。

総括答弁で本橋書記長は「統制委員会設置での制裁を出させないために取り組む。津崎裁判の原告を組織として支える。ＪＲ総連大会での柳副委員長の閉会挨拶は許せない。私たちの闘う相手は会社である」と訴え、大会は成功裡に終了しました。